

国関整企画第163号
令和3年12月24日

横浜市長
山中 竹春 様

国土交通省関東地方整備局長
若林 伸幸
(公印省略)

直轄事業の事業計画等（横浜市関連分）について（通知）

平素から国土交通省直轄事業の推進にあたり、御高配を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、当地方整備局における令和3年度補正予算の事業計画等のうち、貴市関連分について、別紙のとおりお知らせいたします。

（事業計画等は現時点における予定であり、今後変更する可能性があります。）

事務担当：（全 般）	企画部	企画課	企画第一係
（道 路）	道路部	道路計画第一課	計画第一係
（港 湾）	港湾空港部	港湾管理課	海域管理係

令和３年度補正 横浜市における負担額 総括表

(単位：千円)

事業区分	負担基本額	地方負担額
河川関係	－	－
道路関係	540, 000	206, 666
公園関係	－	－
港湾関係 (港湾海岸事業を含む。)	6, 105, 550	2, 001, 850
空港関係	－	－
合計	6, 645, 550	2, 208, 516

※端数処理の関係上、合計と一致しないことがある。

令和3年度補正 横浜市における事業計画（道路関係〔直轄〕）

改築事業

箇所名等		事業規模	全体事業費 (億円)	負担基本額(千円)							地 方 負担額	R3補正事業内容	備考
				内 訳						計			
				工事費	測 量 設計費	用地費及 補償費	船舶及機 械器具費	附帯工事費	事 業 車両費				
国道468号	首都圏中央連絡自動車道 (金沢～戸塚)	L=8.9km	5,820	120,000	0	0	0	0	0	120,000	40,000	・工事推進: 戸塚地区改良工	釜利谷JCT～(仮称)戸塚IC L=8.9km(6/6) 令和7年度 全線開通予定
国道468号	首都圏中央連絡自動車道 (横浜湘南道路)	L=7.5km	4,600	160,000	0	0	0	0	0	160,000	53,333	・工事推進: 横湘トンネル工	(仮称)栄IC・JCT～藤沢IC L=7.5km(4/4) 令和6年度 全線開通予定
合 計				280,000	0	0	0	0	0	280,000	93,333		

(注) 地方負担額については、千円未満の端数処理の関係で合計が負担額通知と合わない場合がある。
(注) 備考欄の開通予定については、事業進捗等により今後、変更する場合がある。
(注) 都道府県及び政令市をまたぎ実施する事業の事業規模、全体事業費については、他の都道府県政令市の区間を含む。
(注) 備考欄に開通予定の記載がない区間については、完成に向けた円滑な事業実施環境が整った段階で開通時期を確定する予定である。

令和3年度補正 横浜市における事業計画(道路関係〔直轄〕)

交通安全事業(Ⅰ種)

箇所名等		事業規模	全体事業費 (億円)	負担基本額(千円)							地 方 負担額	R3年度補正事業内容	備考
				内 訳						計			
				工事費	測 量 設計費	用地費及 補償費	船舶及機 械器具費	附帯工事費	事 業 車両費				
国道1号	神奈川1号交通安全対策	—	—	100,000	0	0	0	0	0	100,000	33,333		
	{ 新子安横断歩道 橋整備	—	—	100,000	0	0	0	0	0	100,000		・工事	
合 計			—	100,000	0	0	0	0	0	100,000	33,333		

(注)地方負担額については、千円未満の端数処理の関係で合計が負担額通知と合わない場合がある。

(注)備考欄の開通予定については、事業進捗等により今後、変更する場合がある。

(注)備考欄に開通予定の記載がない事業については、完成に向けた円滑な事業実施環境が整った段階で開通時期を確定する予定である。

令和3年度補正 横浜市における事業計画(道路関係[直轄])

交通安全事業(Ⅱ種)

箇所名等		事業規模	全体事業費 (億円)	負担基本額(千円)							地 方 負担額	R3年度補正事業内容	備考
				内 訳						計			
				工事費	測 量 設計費	用地費及 補償費	船舶及機 械器具費	附帯工事費	事 業 車両費				
国道1号 国道16号	—	—	—	60,000	0	0	0	0	0	60,000	30,000	区画線、情報収集機器(CCTV)	
合 計			—	60,000	0	0	0	0	0	60,000	30,000		

(注)地方負担額については、千円未満の端数処理の関係で合計が負担額通知と合わない場合がある。

令和3年度補正 横浜市における事業計画(道路関係〔直轄〕)
電線共同溝事業

箇所名等		事業規模	全体事業費 (億円)	負担基本額(千円)							地 方 負担額	R3補正事業内容	備考
				内 訳						計			
				工事費	測 量 設計費	用地費及 補償費	船舶及機 械器具費	附帯工事費	事 業 車両費				
国道357号	神奈川357号電線共同溝	L=1.2km	10	100,000	0	0	0	0	0	100,000	50,000	・本体工事(引込連系管路工事 等含む)	
	〔 新磯子(3)電線共同溝			100,000	0	0	0	0	0	100,000			
合 計				100,000	0	0	0	0	0	100,000	50,000		

(注) 地方負担額については、千円未満の端数処理の関係で合計が負担額通知と合わない場合がある。
(注) 備考欄の開通予定については、事業進捗等により今後、変更する場合がある。
(注) 都道府県及び政令市をまたぎ実施する事業の事業規模、全体事業費については、他の都道府県政令市の区間を含む。
(注) 備考欄に開通予定の記載がない区間については、完成に向けた円滑な事業実施環境が整った段階で開通時期を確定する予定である。

令和3年度補正 横浜港（港湾管理者：横浜市）における事業内容等 （港湾関係）

港湾整備事業 (単位：千円)

港名	施設名	事業規模	全体事業費 (億円)	負担基本額							地 方 負担額	事業内容	備考
				内訳						計			
				工事費	測 量 設計費	用地費及 補償費	船舶及機 械器具費	附 帯 工事費	事 業 車両費				
横浜港	～国際海上コンテナターミナル再編整備事業～												
	本牧地区		3, 100										令和10年代前半完成予定 ※完成に向けた円滑な事業実施環境（注２）が整った段階で確定予定
	岸壁（-16m）（改良）[D5]	L=300m		942, 000	58, 000	0	0	0	0	1, 000, 000	300, 000	本体工、上部工、付属工、地盤改良工、撤去工	
	荷さばき地[D5]	A=90, 000m2		785, 550	0	4, 320, 000	0	0	0	5, 105, 550	1, 701, 850	用地取得、地盤改良工、撤去工	
	計			1, 727, 550	58, 000	4, 320, 000	0	0	0	6, 105, 550	2, 001, 850		

（注1） 端数処理の関係で施設毎の合計と合わない場合があります。

（注2） 「事業実施環境」とは、漁業補償の締結、公有水面埋立免許の取得、用地取得の完了、土砂処分場の確保後等といった、事業を進捗させる上で不可欠な環境のことです。